



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

課題① 利用者の高齢化及び来館者の減少

解消策→「広報」「人集め」により、新規来館者の獲得

e x) 公民館を利用したことのない、あるいは利用する機会のない方、若年層の方へのPR

課題② 地域の高齢化に伴うデジタルデバイド

解消策→「課題解消の事業」により、高齢者のデジタルに対する苦手意識の解消

e x) 理論もちろんであるが、実際に使用するときまでのケアのある実践的な講座

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【オンライン講座】（広報）

川口市の産業や特色として根付いている地域資源を取り上げ、再生回数は1.1万回に達した。その他のオンライン講座も、生涯学習課YouTubeチャンネルや、新郷南公民館のホームページに掲載している。オンライン講座は、視聴される方の生活スタイルにあわせ時間を選ばず受講できるメリットがあるので、働き世代や子育て世代等の普段公民館に来館することが難しい方にも学びを提供することができ、広く公民館事業の周知をすることができた。

【パン作り教室】（人集め）

地域人材活用という観点から、市を代表する有名企業である(株)デイジィに依頼。地元有名企業のシェフから講義いただけることとあって、大人気の教室である。また地元企業の活用により、地域活性化や地元への愛着にもつながる。

【子ども工作教室・料理教室】（人集め）

夏休みの工作教室とクリスマスのケーキ作り教室を小学生対象に開講。学習体験はもちろん、同世代の子どもや、保護者同士の交流にも繋がっている。子どもの利用が多い時間帯に保護者にPRし、どの教室も満員である。

【キャッシュレス講座】（課題解消事業）

昨今加速するキャッシュレス化に対し、不安感や嫌悪感を抱かれる方の救済策として考案した。総務省と提携し日本のキャッシュレス推進策を進める機関であるキャッシュレス推進協議会に協力をお願いし、参加者個々の生活スタイルを事前に聴取り、希望に沿った電子マネーアプリを選び、実際に買い物をするところまで行った。参加者からは、「この講座で助かった。内容が分かり抵抗が少なくなった。やってみたら意外と簡単だった」等、ご好評いただいた。初の試みではあったが、講師と担当職員で協力し、個別対応を充実させることで、成功した。

【スマホ入門講座】（課題解消事業）

高齢者対象に基本操作等の講座を開講した。最近では新型コロナワクチンやマイナンバー等行政への電子申請システムが増加してきている。HPから行政の情報を得たり、電子申請ができたりと、デジタルデバイド解消に繋がった。



オンライン講座



パン作り教室

3. 取組による成果や効果

課題を解決するのももちろんではあるが、その課題解決の事業の存在を多くの人に届けるため、広報、人集めが重要であると認識している。広報の大きな柱として、オンライン講座を開始したが、特に令和4年度に実施した市の資産を題材とした講座は1万人以上の方に視聴いただき、多世代の多くの方に公民館の存在や生涯学習事業を周知することができた。また、集客率の見込める有名企業を使った講座や、若年層の保護者、子ども対象の講座を開講し、スポーツイベント運営時に講座の広報を行う等して、全講座満員になり、人集めができ、利用者の減少の解消に寄与できた。その中で、地域課題解決として、キャッシュレス講座やスマホ講座を開催したが、講座終了時には受講者が確実にスキルを獲得していることが見てとれた。特にキャッシュレス講座に関しては、参加者全員がキャッシュレスで買い物ができるようになっていた。



宝石石けん作り

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 参加者にアンケートを実施し、講座自体の評価、多様な意見を踏まえながら、検証・改善を行っている。
- オンライン講座についても、オンラインにてアンケートを実施し、検証・改善を行っている。
- 公民館運営審議会にて、事業の効果や成果の検証や、地域課題、住民のニーズを踏まえながら事業計画をしている。
- ブロック会議や主事会等を通じて他の公民館と情報交換などを実施し、事業計画や運営に役立てている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

初の試みであっても、積極的にチャレンジし、人集めや課題解決を担うことをモットーとしている。キャッシュレス講座は、実践的な部分までのケアとなると、講師の使う一部の電子マネーアプリに偏ることから、公民館での実施が断念されてきたが、キャッシュレス推進協議会にアプローチし、公共的立場の講師の発掘により実現した。また、有名企業を招いた講座ではスケジュールがとれなかったが、アプローチを続け、実現に至った。



スマホ講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

公民館関係地域にとどまらず、時代のニーズ、課題を捉え、住民の日々の生活に根差した学習の場の提供を心掛けていきたい。また情報発信のツールとして「オンライン講座」を引き続き行い、多世代の方に興味をもってもらえる題材を模索しながら、公民館の活動を広く周知し、生涯学習について関心をもってもらい、機会を増やしていきたい。



電子マネーチャージ方法解説